

縁をつなぎ 安心をとどけるお寺

清元院だより

第9号

「山門の下で太陽に向かって咲く蓮」

今、清元院では「はす友の会」の皆さんに植えていただいたハスが咲き誇っています。

ハスの花はいきいきと生きる力の象徴です。大賀ハスという古代ハスがありますが、二千年前の遺跡の地層から丸木舟と一緒に出土したハスの種を大賀一郎博士が見事に開花させたハスです。二千年も土の中に埋もれていたにもかかわらず、その間ずっと命を保っていたということです。

お釈迦様は、自らが説かletたいいきいきと生きるための教えを「妙法蓮華経」（蓮華の教え）と名付けられました。ハスは泥の中に根っこを張って美しい花を咲かせます。私達も泥（世の中）から離れることなく、今の自分をしっかりと見つめて、いきいきと生きる道を探しなさい。幸せはどこか清らかなところにあるのではなく、いま目の前の世の中（泥の中）にあるのだから…とハスは教えてくれるのです。

- おぼんのおはなし
- コラム「相承」③
- お盆の作法・お彼岸の作法
- お寺のススメ
- イベント案内

発行…曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之
佛歴2561年 平成30年8月1日

「おぼんのおはなし」

お盆はお彼岸と並んで昔から行われている大切な行事です。1年の大切な区切りでもあり、多くの親類縁者が顔を合わせ、大切な方々との「つながり」を確かめる機会でもあります。ではなぜお盆にはこんなことをするのでしょうか。

|||||

昔むかしお釈迦さまの弟子に目連(もくれん)さんという、超能力にすぐれたお坊さんがおりました。ある日のこと、シカの親子が仲良くしているのを見かけた目連さんは、ふと亡くなったお母さんに会いたくなって、超能力でお母さんを探しに行く決心をしました。

仏教には人が亡くなると行く、天界・人間界・修羅界・畜生界・餓鬼界・地獄界の6つの世界があります。目連さんは真つ先に天界に向かいました。ところがいくら探しても天界にお母さんはいませんでした。次に修羅界(争いや怒りの世界)、さらには畜生界(理性がなく本能のままの世界)にも行きましたがお母さんはいません。まさかと思って餓鬼界(飢えと渇きに苦しむ強欲で嫉妬深く思いやる心がない世界)に行ってみると、なんとお母さんはそこにいたのです。目連さんはお母さんのために超能力で食べ物や飲み物を送ろうとしましたが、食べ物や飲み物は口に入れる瞬間に炎と化してしまい、お母さんをさらに苦しめてしまいました。

自分の力ではどうにもできず、目連さんは悩んだ末にお釈迦さまに助けを求めました。するとお釈迦さまは「お前の母親は罪が深いのだ」と言われたのです。目連さんはとてもびっくりしました。目連さんにとつ

てお母さんは優しく良いお母さんだったからです。さらにお釈迦さまは言われました。「そう、おまえの母親はお前を愛する余り、周りを思いやる心を失ってしまったのだ。我が子の幸せを思う余り、他の子供の幸せが憎らしく思えたり、十分に幸せなのにもっともっとと貪ってしまった。そのために今、餓鬼道に落ちて苦しんでいるのだ。」と。そして母を救う方法をこう教えてくださいました。

「7月15日(現在の8月15日)に3ヶ月の修行が終わる修行僧たちにたくさんのお供物を施して供養するのだ。清らかな僧たちが心を1つにしてその布施を受ける功德は大きな力となる。これによって自分の親だけでなく、多くの人々が苦しみの世界から救われるであろう。」「貪りの罪で餓鬼道に落ちてしまった母だからこそ見返りを求めない施し(布施)で救いなさい。」

こうして目連さんはたくさんのお供物を盆に盛り、たくさんのお修行僧を供養しました。そして修行僧たちは、自分の親ばかりでなく周囲の人々すべてが苦しみの世界から救われますようにと祈りました。この供養で目連さんのお母さんは救われ天界に行くことができました。それを知った人々は喜んで踊ったといわれています。それが盆踊りの始まりともいわれています。

|||||

お盆は、この世に生きる私たちと、大切な亡き人とが触れ合う大切な行事です。久しぶりに故郷に集まった家族や親族と共に過ごす楽しい語らいの時間を、生死を越えた「つながり」の尊さを再確認しながら、大切に過ごしたいものです。

コラム「相承」④

人と人が顔と心を含ませ継承していく「相承」について、独り言をいうコラムです。

~~~~~

### 「和尚さんが

### 縁側から上がるわけ」

私がお檀家のお宅に伺う時は玄関から入らずオモテから上がる。お家の方も当然のようにオモテから迎えてくださる。よく子どもに「和尚さんは何で玄関から入ってこんだ？」と尋ねられる。

「オモテ」とは仏壇の正面のこと。または仏壇のある部屋のことを指す。旧家では仏壇の正面に普段は使わない玄関がある。これをオモテ玄関という。オモテ玄関がない家は、オモテの縁側に趣のある杢石(くついし)を置いて出入りできるようにする。

仏壇は先祖をまつところであり、その家の歴史でもある。家にとって大切なお客様を迎える時、家族だけでなくご先祖も総動員して大歓迎する究極のおもてなしがオモテから迎えることなのだ。

お嫁さん、お婿さんを迎える時、和尚さん、神主さん、町長さん……。そして生涯を終えた家族をご先祖に見守られながら送り出すのもまたオモテなのである。

# お盆の作法

|          | 午前7時から   | 午後1時から   |
|----------|----------|----------|
| 8月7日(火)  | 倉吉・北栄・鳥取 |          |
| 8月8日(水)  | 赤碕・東伯・米子 |          |
| 8月9日(木)  | 大父       | 平田平→大父木地 |
| 8月10日(金) | 山川       | 山川木地     |
| 8月11日(土) | 国実       | 大熊       |
| 8月12日(日) | 金屋       | 竹内       |
| 8月13日(月) | 宮木       |          |

## 【棚経について】

※棚経…お檀家の家の仏壇を一軒ずつ拝んで回ること

### ◆十三日までに

- ・**お墓・お寺の位牌堂のそうじ**をして準備します。
- ・仏壇の前に**盆棚**を作るとなお丁寧です。
- (※お盆のしおり参照)

### ◆十三日～十五日

- ・**墓、お寺参り**
- ※**お墓と同じように位牌堂にもお参り**します
- ※お寺参りの際は、棚経のお礼として「**盆礼**」をお寺に持っていくきます。(いくらでも結構です)
- ・三日間夜七時より「**夜施食法要**」
- (※自由にお参りください。すべてのお檀家の先祖供養と初盆供養をします。)
- ◆十三日夕方：墓参りをして**迎え火**を焚きます
- ◆十四日：一四〇〇〇 初盆合同供養法要
- ◆十五日：一：〇〇〇 以西地区戦没者慰霊祭
- ◆十五日深夜または十六日早朝：**送り火**
- (※**経木塔婆**(薄い板の塔婆)と一緒に焚きます)

□仏壇の正面の縁側(おもて)を開けておいてください。

(閉まっている時は外から拝みます)

□仏壇を清浄にして花を飾り、お供えをしましょう。

□読経中はテレビを消し、一緒に手を合わせましょう。

※短時間で失礼しますが、相談事やお困り事があれば、遠慮なく声をかけてください。

◆**彼岸の入り** (9月20日) …お仏壇・仏具の掃除、お墓の掃除、シブ・花のお供え  
※お寺に参るとなお丁寧です。

◆**彼岸の中日** (9月23日) …**お仏壇・お墓・お寺の3カ所にお参り**します。(花やお供え)

◆**彼岸明け** (9月26日) …お仏壇・お墓の供物や花を下げます。

※彼岸の中日に、お寺参りされた方に…

**先祖供養をおつとめします(希望者)**

■ **9月23日(日) 秋分の日** 午前8時～午後4時

■ 清元院 本堂にて (1軒5分程度です)

■ その場で各家ご先祖供養の**経木塔婆を書き読経して供養**

致します。※お気持ちを少し、賽銭箱にお入れください (少額で構いません)

\* 秋彼岸には、多くの供養希望がありました。

お参りいただいた皆様ありがとうございました。

## お彼岸の作法

## お寺で縁結び 大成功!!

6月10日に今年も「お寺で縁結び」が開催されました。今回は男女各10名の定員に男性36名、女性9名の応募がありました。良縁祈願・住職の法話の後、本尊のお釈迦さまに見守られ、10名の縁結びスタッフのおせつかいで4組のカップルが誕生しました。



## 花まつり

4月8日にお釈迦さまの誕生祝いの花まつりを行いました。赤ちゃんから高齢の方まで43名の参加で、法要、紙芝居、福賑やかで楽しい時間となりました。



## お大師講

今年も86体のお大師さんに集まっていたいただき盛大にお勤めました。マジックショーは昨年同様、渦となりました。



## はすとともに感謝 宮木コスモス隊に感謝



4月7・14日に「はすとも」

も(蓮友)のみなさんでハスを40鉢植え替えました。なかなか根気のいる作業ですが、お檀家さんや成美から参加された親子など8名でワイワイ賑やかに楽しみました。お土産に皆さんにハスを贈呈。お家でも見事なハスが咲いたそうです。

6月14日、今年もお寺前の田んぼに宮木部落のみなさんがコスモスをまいてくださいました。トラクターで耕うん、種まき、除草剤と手際のいいこと！お盆に満開になりそうです。お楽しみに！

## 【イベント】

### ◆永代供養墓見学相談会

8月19日(日) 13時半～

### ◆月明かり茶会

9月24日(月) 19時～

・中秋の名月と朗読、お茶席、中国茶はす茶、竹林ライトアップ

### ◆手作りお地藏さん教室

9月22日(土) 14時～

・講師：倉吉八幡窯 小原雅也先生  
・費用：1人2000円

・定員：15名



## 【月例会】

### ◆写経写仏切仏の会

○第1日曜 15時～

### ◆坐禅会

○第3日曜

4～9月 5時半～

10～3月 6時～

### ◆お寺ヨガ

○第4水曜 19時半～



清元院

住職 井上 英之

〒 689-2522 鳥取県東伯郡琴浦町宮木 57  
電話 0858-55-7063 fax 0858-55-7064 携帯 090-4923-8768  
メール [inoterai1@mx1.tcbnet.ne.jp](mailto:inoterai1@mx1.tcbnet.ne.jp) facebook: 清元院 井上英之